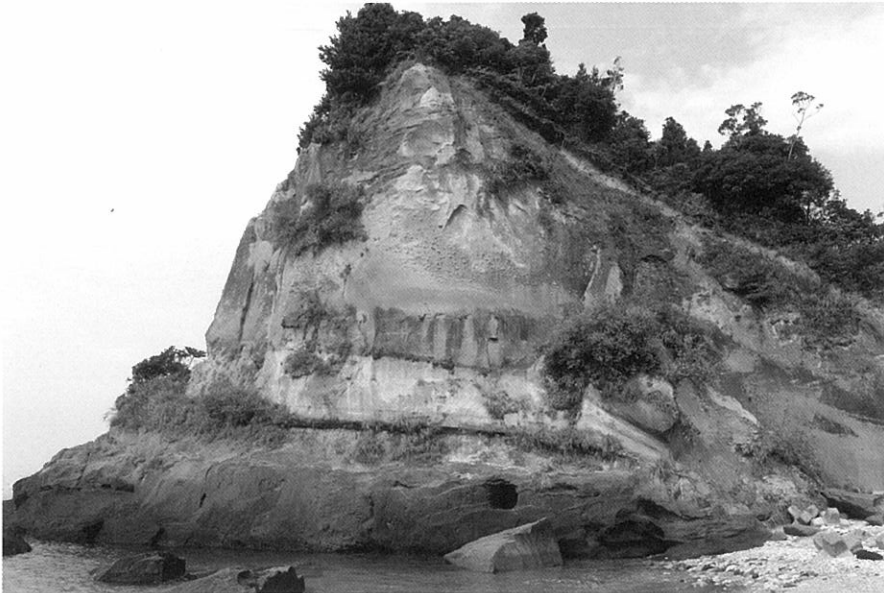


熊本地学会誌

Journal of the Kumamoto Geoscience Association

No. 169



目 次

- 「行事報告」
阿蘇カルデラ南西～南東壁に分布する先阿蘇火山岩類の岩脈……………1-6
原 千穂子
- 平成 27 年度第 2 回巡検会「大隅半島巡検会」報告……………7-11
藤澤聖史

熊本地学会
Kumamoto Geoscience Association
2015.9.30

表紙写真

志布志市夏井海岸の大規模火砕流堆積物.

太平洋に面する鹿児島県志布志市夏井海岸の海食崖には南九州を代表する大規模火砕流堆積物が露出している。海食崖の約上半分には約 29,000 年前に始良カルデラ（鹿児島湾最奥部）から噴出した入戸火砕流堆積物が認められ、その基底部 2 m 程度は溶結している。また、入戸火砕流堆積物直下には直前のプリニー式噴火の産物である大隅降下軽石（写真中央やや下の白い部分）が存在し、給源から約 45 km 離れた夏井海岸でも 3 m 以上の層厚を有している。さらに、海食崖最下部には約 105,000 年前に噴出した黒褐色の阿多火砕流堆積物も認められる。このように夏井海岸の一部は複数の大規模火砕流堆積物等が良好に観察できることから、国の天然記念物に指定されている。

（写真・解説：宮縁育夫）